

目黒区青少年委員だより

# かけはし 100号

子どもたちの未来へつなぐ虹のかけはし



## おかげさまで 100号!!

\\ 100号記念企画 各住区の自慢イベント紹介号 //

コロナ禍の中、例年の行事実施もままなりません、アフターコロナを見据えてこれまで実施してきた各住区の自慢の行事をご紹介します。コロナが落ち着いたら、皆さんとともにこれまで以上に楽しいイベントを実施していきますので、楽しみにしてください。

児童・生徒の皆さん、他の住区のイベントで気になるものがあれば、各住区の青少年委員にお気軽にお声がけください。

### あいさつ 目黒区青少年委員会会長 鶴田 さつき

皆様、こんにちは。このコロナ禍でほとんどの行事が中止となり今年度の活動は何もできない中での年明けとなりました。また、私たち青少年委員は、小さいころから見守っていた子どもたちが、毎年成人式を迎えるのを楽しみにしていますが、今年度は元気な笑顔を見るのがかないませんでした。

さて、青少年委員制度が昭和28年に東京都で発足して今年で68年を迎えます。年に2回発行の青少年委員広報誌「かけはし」も今回で100号を迎えます。これもひとえに、諸先輩方が地道に活動を築いてくださったおかげです。150号、200号に向けて足跡を残せるように私たちも頑張りたいと思います。

今年度は色々な行事が中止になる中、私たちも出来ることを考え、最大の注意を払い行動してみることも青少年委員の役目と考え、11月に視察研修を行いました。これは、青少年委員が地域に持ち帰り、バスハイクなどに役立ててもらうための研修です。バスへの乗り降りの仕方、消毒はもちろん、バスの中での人数や座る位置、話し方、昼食、バスレクな

どいつもは気にしないでよいことにたくさんの時間をかけました。止めてしまうのは簡単ですが、工夫して実行することで新たな発見ができたと思っています。この経験をもとにいつまで続くかわからないこの状況下で楽しく行えるイベントを考え、感染症対策をし、できることをできる範囲内でコロナに負けることなく、青少年委員が笑顔で地域での活動が行える様に挑戦していきたいと思います。

